

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公開番号】特開 2009-268244 (P2009-268244A)
 【公開日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-045
 【出願番号】特願 2008-114419 (P2008-114419)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 1/00 (2006.01)

G 0 5 F 1/10 (2006.01)

H 0 2 H 9/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 J 1/00 3 0 9 R

G 0 5 F 1/10 3 0 4 M

H 0 2 H 9/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 20 日 (2011.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電源から負荷に対して電力を供給する電力供給ラインに直列に接続されたスイッチング素子と、

抵抗及びコンデンサを有し、該コンデンサの充電電圧に応じて前記スイッチング素子の動作を制御する時定数回路と、

前記負荷への電力供給の切断時に、前記時定数回路に備えられた前記コンデンサの電荷を放電する基準電圧回路とを有することを特徴とする突入電流低減回路。

【請求項 2】

前記基準電圧回路から前記時定数回路に向けて順方向となるように、前記基準電圧回路と前記時定数回路との間に接続されたダイオードを有することを特徴とする請求項 1 に記載の突入電流低減回路。

【請求項 3】

前記基準電圧回路は、抵抗及びコンデンサで構成されたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の突入電流低減回路。

【請求項 4】

前記基準電圧回路が有する前記コンデンサの容量が前記時定数回路が有する前記コンデンサの容量よりも大きいことを特徴とする請求項 3 に記載の突入電流低減回路。

【請求項 5】

前記スイッチング素子を保護するダイオードをさらに備えたことを特徴とする請求項 4 に記載の突入電流低減回路。

【請求項 6】

前記基準電圧回路は、抵抗及び定電圧ダイオードを有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の突入電流低減回路。

【請求項 7】

前記基準電圧回路は、定電圧源であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の突入電流低減回路。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、

電源から負荷に対して電力を供給する電力供給ラインに直列に接続されたスイッチング素子と、

抵抗及びコンデンサを有し、該コンデンサの充電電圧に応じて前記スイッチング素子の動作を制御する時定数回路と、

前記負荷への電力供給の切断時に、前記時定数回路に備えられた前記コンデンサの電荷を放電する基準電圧回路と
を有することを特徴とする突入電流低減回路を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】突入電流低減回路